

第 18 回山崎武司杯東海市少年軟式野球大会開催要項

- 1 主 催 東海市教育委員会・(一社) スポーツクラブ東海
- 2 主 管 東海市スポーツ少年団
- 3 期 日・会 場 令和 7 年 1 1 月 1 6 日 (日) (平地球場)
1 1 月 2 2 日 (土) (大池球場)
1 1 月 2 3 日 (日) (大池球場)
〔予備日〕 1 1 月 2 4 日 (祝) (大池球場)
〔予備日〕 1 1 月 2 9 日 (土) (加木屋球場)
〔予備日〕 1 1 月 3 0 日 (日) (加木屋球場)
- 4 参 加 資 格 令和 7 年度東海市スポーツ少年団登録チーム
- 5 適 用 規 則 2025 年度版公認野球規則並びに少年野球に関する事項を適用する。
- 6 大会使用球 全日本公認球 J 号ボール
- 7 参加申込み 代表者会議当日 (1 0 月 1 8 日 (土)) に、「選手登録票」を
(一社) スポーツクラブ東海事務局に提出する。
※新人戦支部長杯代表者会議終了後に開催します。
※「選手登録票」Excel シートご希望のチームは下記事務局の
ホームページからダウンロードして使用ください。
- 8 大会負担金 無料
- 9 問い合わせ先 (一社) スポーツクラブ東海 事務局
電話 0562(39)4050 FAX 0562(39)4051
E-Mail sc-tokai@ma.medias.ne.jp

第18回山崎武司杯東海市少年軟式野球大会における注意事項

- 1 この注意事項は、必ずチーム全員に周知してください。

(大会当日)

- 2 その日の試合を行うか否かは、午前7時の時点で役員が天候の状況、グラウンドの状態等を考慮し決定します。中止決定が覆ることはなく、その後の天候が快晴になってもその日の試合は行いません。
- 3 中止決定について、主催者側からは通知しません。各チームの監督は午前7時以降に下記へ問い合わせてください。

各チームの選手または保護者は7時30分以降に監督に問い合わせることとし、選手または保護者が市役所に直接電話することのないように徹底してください。

【問い合わせ先：東海市役所当直室 052-603-2211 または 0562-33-1111】

- 4 第1試合に出場する両チームはライン引き等の会場準備、最終試合の両チームはベースの片付け等をお互いに協力して行ってください。(連盟支部の指示に従ってください)

(チーム登録)

- 5 令和7年度東海市スポーツ少年団に登録されたチームを参加対象とします。
- 6 選手の二重登録は認めません。監督は、選手が他のチームに登録されていないことを十分確認してください。
- 7 選手の背番号は、算用数字で0番から99番までとし、主将は10番、監督は30番、コーチは29番、28番で統一してください。
- 8 選手は必ず大会参加申込書で届け出た背番号を付けて試合に出場してください。なお、一度届け出た背番号を変更することはできません。
- 9 ベンチに入ることができるのは、登録された選手及び監督、コーチ、スコアラー、代表者、保護者1名(健康管理)とします。

(試合上の注意事項)

- 10 今大会での使用球は、全日本軟式野球連盟公認球J号とします。
- 11 今大会には、2025年度版の公認野球規則(少年野球編)を適用します。
- 12 ベンチは、抽選番号の若いチームを一塁側とします。
- 13 選手、監督、コーチは必ずユニフォームを着用してください。
- 14 チーム全員が試合開始時刻60分前までに会場に集合し、監督は本部へ報告してください。
- 15 監督は、集合を本部へ報告した後に打順表を受け取ってください。第1試合のチームは、打順表を受け取った後、速やかに打順表を本部に提出してください。第2試合以降の打順表の提出は、前の試合が4回を終了するまでに完了してください。
- 16 試合は、トーナメント方式「6回戦」で行います。決勝戦も同様です。
 - ① 回数に関係なく、1時間30分を経過したら新しいイニングには入りません。
 - ② コールドゲームは、3回以降10点、4回以降7点以上の得点差が生じたときに適用します。
 - ③ 6回を完了又は1時間30分を経過して同点の場合はタイブレーク方式を1回限り行います。それでも決着がつかない場合は抽選で勝敗を決定します。

【タイブレーク方式】

無死1、2塁の状態にして継続打順で、前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者として行い得点の多いチームを勝ちとします。なお、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許されます。

- 17 試合開始時刻になっても本部に集合の報告がない場合は、原則として棄権したものとみなします。

- 18 審判の判定に対して、監督は直接抗議することが認められます。
- 19 試合中の禁止事項は以下のとおりです。
- ・相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は「厳禁」、目に余る行為はチームの責任とする
 - ・捕手はマスク（スロートガード付）、プロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、ファウルカップ（必須）を着用すること
 - ・控え捕手が投手の投球練習球を受ける場合もマスク、ファウルカップを着用すること
 - ・ベンチ付近での投球練習（含む、キャッチボール）及び素振りは、禁止とする
- 20 試合のスピード化に関する事項は以下のとおりです。
- ・「申告敬遠（故意四球）」を適用する
 - *守備側の監督が球審に敬遠（故意四球）の意向を申告した場合とする
 - *打席の途中での申告できる
 - ・先頭打者とコーチは、ミーティングに参加せず速やかに所定の場所につく
 - ・攻守交代は、駆け足（投手も含む）で行うこと
- 21 グラウンド内に野球用具以外のものを持ち込んではいけません。（水筒等に関り、ベンチへの持ち込みを認めますが、審判の指示には従ってください。）
- 22 素振り用の鉄製の棒やバットリングを使用することはできません。
- 23 投手の投球制限は1日6イニングとしますが1試合を通してタイブレーク方式の続投は7イニングまでとします。

（その他）

- 25 今大会における映像、写真、記事等の、テレビ、新聞、インターネット等への掲載権は主催者に帰属します。
- 26 表彰式は、後日市役所庁舎で行う予定です。（対象チームには、連絡します。）

◇審判は、下記の表のように各チームが相互協力で行ってください。（各チーム2名）

【2試合の場合】	【3試合の場合】	【4試合の場合】	【準決勝・決勝の場合】
第1試合 審：第2試合チーム	第1試合 審：第3試合チーム	第1試合 審：第2試合チーム	準決勝第1試合 審：第2試合チーム
第2試合 審：第1試合チーム	第2試合 審：第1試合チーム	第2試合 審：第1試合チーム	準決勝第2試合 審：第1試合チーム
	第3試合 審：第2試合チーム	第3試合 審：第4試合チーム	決勝 審：準決勝敗退チーム
		第4試合 審：第3試合チーム	